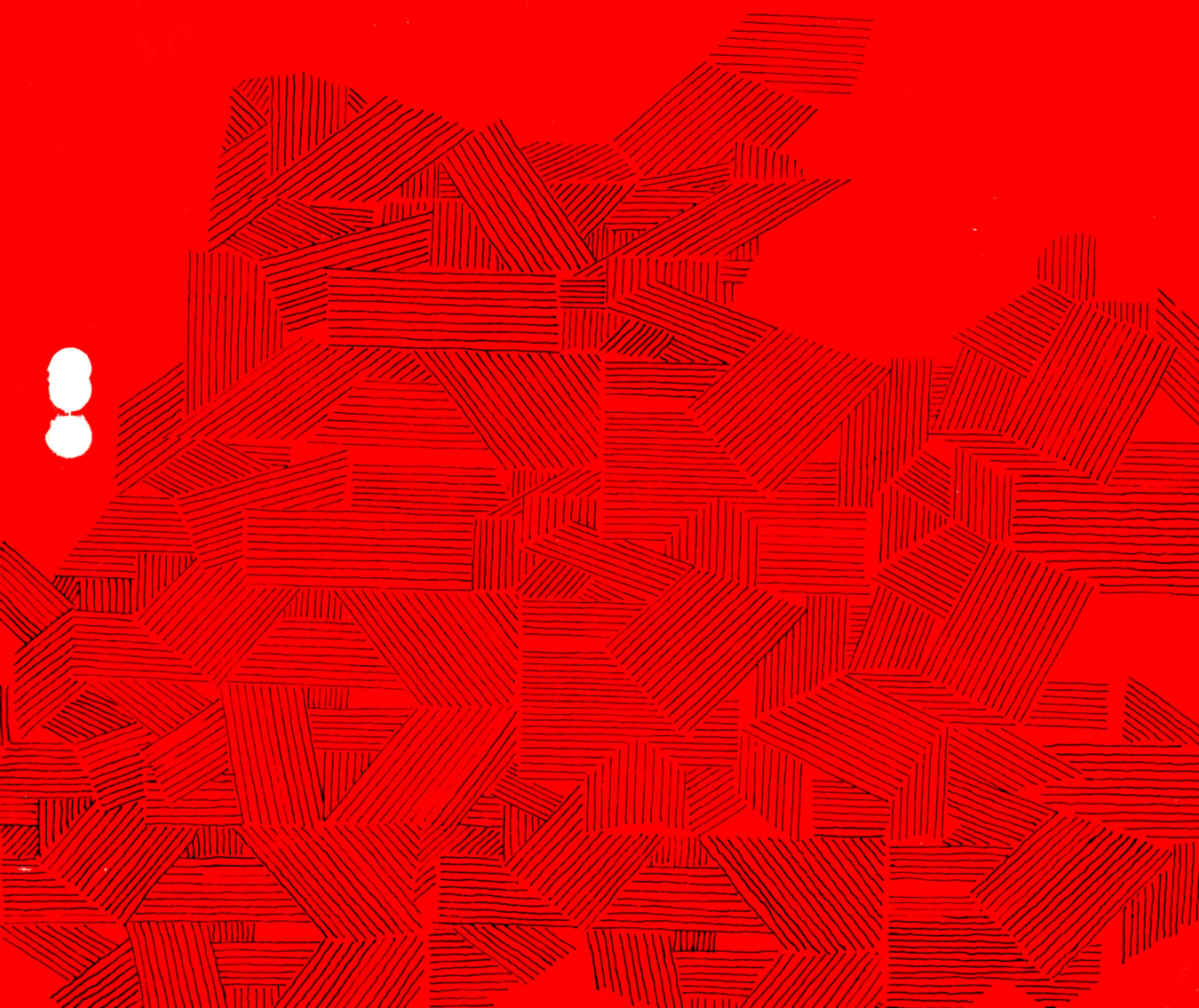


第13回 全日本 カッター 競技大会

日時 44年5月23日(金)09:00～16:00
会場 呉市海上保安大学校・沖海面
主催 全日本カッター連盟
主管 海上保安大学校学生会



第13回全日本カッター競技大会を迎えて

海上保安大学校長 朝 藤 琢 彌

五月晴れの波静かなここ瀬戸の一角で、今年も恒例の第十三回全日本カッター競技大会が行なわれることになり、全国から、各大学のベストクルーの諸君が、日頃練磨の腕前を競うことになりました。時あたかも、本校の学生祭の日でもあり、各大学の潑刺たる学生諸君をお迎えできたことは、またとない機会であり、同じく海に生き、海に志す若き諸君が、カッターレースを通じて交歓できるのは、まことに喜ばしい限りであります。

私も、学生の頃、カッターレースに参加したことがありますが、手やお尻が赤むけになり、レース途中の苦しかつたことも、今では懐しい思い出となっています。

若い人々が相つどい、精魂を傾けて、若さと根性と闘志を競うその中に、将来へのお互の友情の絆となって、相携えて祖国日本を背負う人となる諸君の、今日の健闘を祈ってやみません。

大 会 役 員

会 長	海上保安大学校 校 長	朝 藤 琢 弥
副 会 長	教 頭	菅 原 義 藏
審 判 長	訓練部長	豊 田 五 郎
役 員	海 技 大 学 校	明 渡 範 次
	鹿 児 島 大 学	肥 後 伸 夫
	神 戸 商 船 大 学	西 原 義 久
	水 産 大 学 校	橋 本 市 雄
	東 京 商 船 大 学	中 島 保 司
	長 崎 大 学	柴 田 恵 司
	三 重 県 立 大 学	細 川 鉄 雄
	防 衛 大 学 校	石 崎 勝 之 助
	海上保安大学校	寺 田 三 郎

大 会 委 員

委 員 長	原	信 義	通 信 放 送	佐 藤 政 彦
庶 務 会 計	上 原	伸 之	警 戒	下 川 宏
会 場 進 行	三 次	明	審 判 記 録	矢 羽 野 弘 司
広 報 写 真	橋 本	博 文	医 療	坪 井 幸 藏
配 艇	岩 瀬	操	宿 泊	田 中 正 昭
競 技 場	五 十 嵐	一 馬		

出 漕 ク ル ー

海 技 大 学 校

(註) ◎キャプテン ○マネージャー

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身	校 (出身県)
顧問	明 渡 範 次					
艇指揮	◎ 長 田 弘 満	本科 N . 2	170	60	海	大 (愛 知)
艇 長	五 味 清 文	本科 N . 2	165	59	海	大 (長 野)
1	新 井 迪 晴	本科 N . 1	164	63	鳥 羽 商	船 (東 京)
2	吉 田 貢 弘	甲二 N	168	59	館	山 (茨 城)
3	倉 本 勝 一	甲二 N	176	67	宮	古 (岩 手)
4	中 村 健 郎	甲二 N	171	58	清	水 (岐 阜)
5	荒 孝 一	甲二 N	172	70	宮	古 (福 島)
6	手 塚 政 宏	甲二 N	168	65	宮	古 (宮 城)
7	立 石 範 治	甲二 N	168	67	門	司 (福 岡)
8	松 崎 修 男	甲二 E	170	61	多 度 津 水	産 (香 川)
9	田 代 秀 男	甲二 N	174	72	宮	古 (宮 城)
10	林 三 男	甲二 N	166	63	館	山 (千 葉)
11	鈴 木 勝 義	本科 E . 2	166	62	三 谷 水	産 (愛 知)
12	松 崎 達 雄	甲二 N	165	70	唐	津 (佐 賀)
補	内 海 稲 男	甲二 E	169	63	宮	古 (宮 城)
〃	松 尾 時 安	甲二 N	167	60	七 門	尾 (石 川)
〃	黒 田 成 豊	甲二 N	168	65	弓	司 (福 岡)
〃	宮 本 浩 迪	本科 E . 1	173	64	削 田 商	船 (大 阪)
〃	岩 田 浩 二	甲二 E	175	69	浜 田 水	産 (島 根)
	渡 辺 浩 二	本科 N . 2	160	60	広 島 商	船 (島 根)

鹿 児 島 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身	校 (出身県)
顧問	肥 後 伸 夫					
艇指揮	○ 楠 島 義 則	G 2 年	170	61	小 平 高	校 (東 京)
艇 長	網 根 敏 美	K 3	170	65	明 善 高	校 (福 岡)
1	外 山 史 郎	G 3	170	65	下 関 工 業 高	校 (山 口)
2	丹 生 正 孝	G 3	170	61	加 治 木 高	校 (鹿 児 島)
3	下 島 道 繁	G 3	169	65	田 川 高	校 (福 岡)
4	宮 崎 正 基	G 2	165	58	加 世 田 高	校 (鹿 児 島)
5	岸 本 輝 夫	G 3	170	65	姫 路 西 高	校 (兵 庫)
6	石 井 知 見	G 2	172	68	熊 本 高	校 (熊 本)
7	◎ 森 島 正 喜	G 3	175	70	門 司 高	校 (福 岡)
8	松 本 正 志	G 3	173	68	日 田 高	校 (大 分)
9	秋 永 広 博	G 3	172	60	山 田 高	校 (福 岡)
10	久 川 直 美	S 3	169	60	佐 世 保 北 高	校 (長 崎)
11	松 本 直 悟	G 3	166	64		(広 島)
12	長 沢 純	G 3	166	60	田 川 高	校 (福 岡)
補	中 川 純	K 2	170	60	大 濠 高	校 (福 岡)
〃		Z 3	170	63	三 国 丘 高	校 (大 阪)

G : 漁 業 科
K : 漁業経営科

S : 製 造 科
Z : 増 殖 科

出 漕 ク ル ー

神戸商船大学校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校 (出身県)
艇指揮 ◎	筒井 哲	N . 4	172	68	明 石 (兵庫)
艇長	山地 暘	N . 3	162	60	啓 光 (大阪)
1	伊東 由人	N . 3	170	68	東 筑 (福岡)
2	伏井 繁雄	N . 4	170	65	今 工 (大阪)
3	矢谷 孝昭	E . 3	175	65	明 石 (兵庫)
4	塩見 嘉弘	N . 3	173	65	夕 丘 (大阪)
5	脇屋 伯英	E . 3	174	75	畝 傍 (奈良)
6	石田 廣史	N . 2	172	71	三 丘 (大阪)
7	武田 安夫	N . 4	177	74	岐 北 (岐阜)
8	山谷 周二	E . 3	173	70	八 尾 (大阪)
9	藤井 雄史	N . 3	178	70	市 岡 (大阪)
10	山南 健太郎	E . 2	175	68	明 石 (兵庫)
11	福岡 真一	N . 3	168	64	武 生 (福井)
12	江崎 康	N . 3	168	65	明 石 (兵庫)
補欠	中尾 順	E . 3	173	65	明 石 (兵庫)
々	田代 世紀	E . 3	180	75	豊 津 (福岡)

水 産 大 学 校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校 (出身県)
顧問	橋本 市雄	K . 2	167	59	西 宮 高 (兵庫)
艇指揮 ○	戸田 文雄	Z . 3	166	60	仙 台 三 高 (宮城)
艇長	西堀 方徳	K . 3	166	63	武 板 高 (佐賀)
1	緒方 篤	G . 2	177	67	板 橋 高 (東京)
2	池村 誠	G . 2	176	71	千 種 高 (愛知)
3	鳥井 計郎	K . 2	175	67	足 立 高 (東京)
4	原多 一郎	S . 2	174	67	城 北 高 (徳島)
5	高木 志郎	K . 3	170	68	東 住 吉 高 (大阪)
6 ◎	藤王 健一	S . 3	180	75	正 則 高 (東京)
7	山本 正夫	G . 4	176	73	篠 山 鳳 鳴 (兵庫)
8	谷沢 次郎	Z . 2	174	66	海 南 高 (徳島)
9	海保 貢	K . 3	173	67	松 阪 工 業 (三重)
10	中谷 徹二	G . 3	168	64	豊 浦 高 (山口)
11	田村 良夫	G . 3	167	67	下 館 一 高 (茨城)
12	赤羽 由彦	G . 2	168	65	県 館 ケ 高 (長野)
補欠	戸利 彦	G . 4	170	64	鳳 高 (大阪)

出 漕 ク ル

東京商船大学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校 (出身県)
顧問	中 島 保 司				
艇指揮	松 村 正 純	N . 4	170	63	大 泉 高 (東京)
艇 長	中 西 豊 繁	N . 4	170	64	高 知 芸 高 (高知)
1	加 瀬 繁 章	N . 3	163	64	高 瑳 高 (千葉)
2	三 浦 章 博	N . 2	172	68	酒 田 東 高 (山形)
3	服 部 純 一	N . 2	170	69	酒 静 岡 高 (静岡)
4	弓 削 純 一	E . 3	174	65	石 岡 卷 高 (宮城)
5	◎ 谷 鈴 木 憲 一	E . 4	172	70	世 田 谷 高 (東京)
6	鈴 木 憲 一	E . 4	170	70	安 房 高 (千葉)
7	松 垣 漸 裕	N . 4	171	69	海 桐 南 高 (和歌山)
8	有 本 野 悟 一	N . 3	174	65	桐 朋 高 (東京)
9	町 玉 野 修 一	E . 4	166	67	帯 広 三 条 高 (北海道)
10	山 本 榮 次 郎	E . 2	170	70	相 模 原 高 (神奈川)
11	佐 竹 秀 夫	N . 3	171	63	半 田 高 (愛知)
11	中 村 晴 夫	N . 2	169	67	藤 山 高 (静岡)
補	神 原 英 司	N . 2	167	63	戸 塚 高 (神奈川)
々		E . 3	167	60	米 沢 興 譲 館 高 (山形)

長 崎 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校 (出身県)
顧問	柴 田 恵 司				
主 務	竹 内 正 勝	漁 . 3	171	70	筑 紫 丘 (福岡)
艇指揮	植 木 成 治	〃	160	55	小 浜 (長崎)
艇 長	森 永 孝 昭	〃	165	60	佐 世 保 南 (〃)
1	塩 崎 良 憲	〃	168	63	島 原 (〃)
2	田 崎 種 男	〃	170	58	大 村 (〃)
3	谷 山 豊 昇	〃	170	60	小 林 (宮崎)
4	高 野 幹 雄	〃	163	61	若 松 (福岡)
5	村 山 順 一	〃	169	63	長 崎 西 (長崎)
6	◎ 江 藤 利 幸	〃	170	63	白 杵 (大分)
7	安 田 洋 一	〃	172	67	南 山 (愛知)
8	有 田 正 道	〃	177	69	東 筑 (福岡)
9	長 沢 井 守	製 . 3	170	68	舞 鶴 (大分)
10	玉 井 嘉 孝	漁 . 3	179	65	舞 鶴 (大分)
11	城 野 博 彰	増 . 3	167	59	大 濠 (福岡)
12	佐 伯 敬 幸	漁 . 3	174	65	上 山 五 島 (長崎)
補	中 川 幸 郎	増 . 2	180	78	山 鹿 (熊本)
々	左 山 哲	漁 . 2	170	63	因 島 (広島)

出 漕 ク ル ー

防 衛 大 学 校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校	(出身県)
顧問	石 崎 勝之助					
艇指揮	内 野 寿 雄	陸 . 4	176	60	明 善	高 (福 岡)
艇 長	矢 坂 元 信	海 . 4	163	60	浅 野	高 (神奈川)
1	土 岐 光 徳	海 . 3				
2	西 村 英 行	陸 . 4	165	60	福 岡	高 (福 岡)
3	斉 藤 悟 悟	陸 . 3	168	60	秋 田	高 (秋 田)
4	香 田 洋 二	海 . 2	173	65	脇 町	高 (徳 島)
5	柳 沢 考 興	陸 . 3	171	62	湘 南	高 (神奈川)
6	岡 田 博 明	海 . 3	175	70	明 台	高
7	小笠原 常 雄	海 . 3	168	67	松 山 東	高 (愛 媛)
8	神 原 東 一郎	陸 . 4	170	78	銚 子	高 (千 葉)
9	岩 谷 文 隆	海 . 4	171	60	五 島	高 (長 崎)
10	峰 岡 偉 津夫	海 . 3	170	65	大 津	高 (滋 賀)
11	石 原 耕 蔵	陸 . 4	170	63	津 山	高 (岡 山)
12	重 水 義 也	海 . 4	173	58	伊 集 院	高 (鹿 児 島)
補	正 田 勉	海 . 3	166			
〃	清 水 嘉 男	陸 . 3	169		洛 東	高 (京 都)
〃	清 末 純 博	海 . 2	172		上 野	丘 (大 分)
〃	西 田 利 雄	海 . 2	175		諫 早	高 (長 崎)

三 重 県 立 大 学

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校	(出身県)
顧問	細 川 鉄 雄					
艇指揮	三 宅 利 清 夫	増 . 3	164	60	関 大 一	高 (大 阪)
艇 長	山 田 利 昇	増 . 3	167	60	長 桑	良 (岐 阜)
1	代 田 洋 介	製 . 3	172	65	桃 山 学	名 (三 重)
2	奥 西 寛 二	漁 . 2	167	60	五 成	院 (大 阪)
3	田 川 政 身	漁 . 2	173	65	伊 勢	条 (奈 良)
4	彦 坂 中	製 . 3	168	61	成 伊	章 (愛 知)
5	後 藤 貞 範	漁 . 2	167	62	伊 勢	勢 (三 重)
6	水 越 雅 夫	製 . 3	170	65	四 日 市	工 (三 重)
7	藤 井 雅 明	漁 . 2	178	75	伊 勢	勢 (三 重)
8	◎ 吉 中 和 民	製 . 3	174	70	伊 兵	庫 (兵 庫)
9	多 田 和 篤	漁 . 3	168	62	朝 松	日 (岡 山)
10	角 谷 定 生	漁 . 2	172	63	松 阪	阪 (三 重)
11	坂 谷 定 雄	増 . 3	168	60	松 大	阪 (三 重)
12	藤 江 鉄 雄	漁 . 2	170	60	大 尾	社 (島 根)
補	森 末 恵 治	製 . 2	170	60	尾 道	北 (広 島)

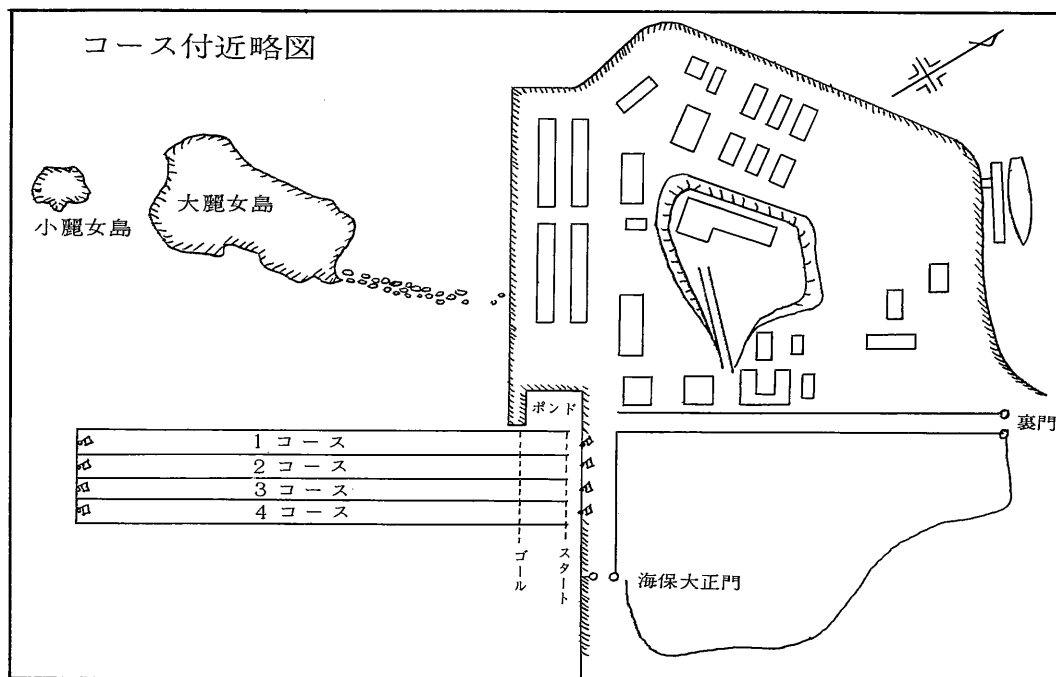
出 漕 ク ル ー

海上保安大学校

	氏 名	科・学年	身長	体重	出 身 校 (出身県)
顧問	島 田 兵 二				
艇指揮	◎ 竹 本 憲 二	4 . N	168	58	観 音 (広 島)
艇 長	西 田 芳 正	3 . E	169	57	門 司 (福 岡)
1	佐 藤 清 志	3 . E	164	65	上 野 丘 (大 分)
2	村 井 正 広	3 . N	160	60	名 古 屋 西 (愛 知)
3	富賀見 栄 一	3 . E	163	62	中 津 南 (大 分)
4	野 網 仁	3 . N	167	62	三 本 松 (香 川)
5	岡 哲 磨	3 . N	165	67	中 津 南 (大 分)
6	大 岩 尚 志	3 . N	172	70	富 山 中 部 (富 山)
7	平 家 隆 雄	2	172	68	立 松 山 北 (愛 媛)
8	東 正 美 明	3 . N	173	82	塔 南 (京 都)
9	橋 本 良 明	4 . N	171	66	福 野 (富 山)
10	山 名 利 美	4 . E	170	68	府 中 (広 島)
11	古 屋 克 己	4 . N	165	58	立 川 (東 京)
12	志 賀 薫 二	2	165	56	立 西 宮 (兵 庫)
予 備	堤 康	2	170	68	札 幌 南 (北海道)
〃	川 島 豊	2	173	73	鞍 手 (福 岡)
〃	宮 路 公 一	2	164	61	加 治 木 (鹿 児 島)
○	岩 瀬 操	4 . E	163	60	足 立 (東 京)

成 績 一 覧

第1回	① 東京水産大学	② 東京商船大学	③ 神戸商船大学 (東 京)
第2回	① 東京水産大学	② 水 産 大 学 校	③ 東京商船大学 (神 戸)
第3回	① 水 産 大 学 校	② 海上保安大学校	③ 東京水産大学 (呉)
第4回	① 神戸商船大学	② 水 産 大 学 校	③ 海上保安大学校 (横須賀)
第5回	① 東京水産大学	② 水 産 大 学 校	③ 三重県立大学 (神 戸)
第6回	① 東京商船大学	② 防 衛 大 学 校	③ 水 産 大 学 校 (館 山)
第7回	① 東京水産大学	② 海上保安大学校	③ 神戸商船大学 (呉)
第8回	① 神戸商船大学	② 海上保安大学校	③ 東京商船大学 (館 山)
第9回	① 神戸商船大学	② 防 衛 大 学 校	③ 水 産 大 学 校 (神 戸)
第10回	① 海上保安大学校	② 防 衛 大 学 校	③ 三重県立大学 (横須賀)
第11回	① 防 衛 大 学 校	② 海上保安大学校	③ 三重県立大学 (呉)
第12回	① 防 衛 大 学 校	② 神戸商船大学	③ 海上保安大学校 (館 山)



レースの手引

本大会に使用される艇は長さ9米12人漕のカッターである。救命艇として使用されるものであるが一般のそれは艀艇同型であるのに対し、艇を切落して外観は普通の舟艇と変わらない。外板鍍張の木製でオール12本（各々長さ約4米40握りの直径8.2糎、重さ10乃至15匁である）マスト、セール等の機装品を備え帆走も可能である。漕手はクルーと呼ばれ艇尾より船首に向つて艀右側の者が1番、同じく左側の者が2番、以下交互に3、4～11、12番と続き、1、2番をBowmen、11、12番をStrokemen（整調）と称して桡漕のピッチを加減する任務を持つ。艇尾で舵を握るのが艇長で、指揮号令を行つているのが艇指揮である。艇指揮は艇の全ての指揮を行い船長に相当する。

レース距離は折返し2000米の直線コースで行う。各艇の艇首が一直線に並んだ時、号砲の信号を以つてスタートし、スタートラインより1000米の所に設置された各コース毎の回頭旗を、艇をこれに接触させずに左回り（反時計回り）に回頭して帰ってくる。即ちスタートラインがそのままゴールラインで、ゴールは艇首がゴールラインに達した時とする。予選は各グループ4チームづつで分けて行う。各グループの優勝チーム及び2位となつたチームが敗者復活戦を行つて1位となつた計4チームによつて最後に優勝戦が行われるのである。レースはいずれも時間的ずれによる海況の変化の影響等のために、タイムレースでなく着順位である。ピッチ（1分間に漕ぐ回数）は大体30前後であるが各チームとも漕法の研究を重ねているので必ずしも一定ではなくそれぞれ特色のある漕法によるピッチを持つている。レース所要時間は10分余である。しかし、救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行われ、その様な場合には30分にも及ぶ。カッターレースは10分余の間一瞬といへども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。レースの見所は、ピッチをいくらに定めるか、スタートダツシユ、回頭ラストスパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等たゆまぬ練習、シーマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

審 判 規 則

- 1 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
- 2 スタート
 - 1 各艇は指定の時刻、コース順に従い、スタートラインに整列する。
 - 2 5分前をマイクにより通達スタートブイにつく。ブイにつき用意が完了したら艇長は陸上の審判員に手を挙げて合図する
- 3 スタート用意：号笛短声連続、手旗2原画、号笛長一声手旗頭上より一回転する
- 4 スタート：頭上手の旗を垂直に振下すと同時に号砲を打つ。
- 3 審判長、審判員がスタートを不完全と認めたときは直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。
諸信号、審判艇コース横断。
- 4 スタートにおける号令前の飛び出し及び艇の事故によるスタートの遅速等は2回で失格である。
- 5 回頭は左回頭とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし他の回頭旗を回頭した場合、及び回頭旗に艇またはオールの一部でも接触した場合は失格である。
- 6 ゴール：艇首が規定のゴールラインに入つた順序をもつて順位とし、順序は審判員が判定する。
- 7 同着の場合は追込艇の勝とする。
- 8 ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
- 9 各艇は自己のコースを航行しもしこれを誤つて他の艇に接触その他不正行為があつたと審判員の認めたときは失格とする
- 10 レース中のコースにおける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自らこれを恐ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでないときもある。
- 11 レースに関する異議申立等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する
- 12 オールは予備2本を積み自由に使用して良い。
- 13 補欠は2名以内自由に交替できる。
- 14 オールは流したままゴールインしてよい

MEMO

天候

風向

風速

波浪

時 刻	種 目	コース	校 名	艇	着 順	タ イ ム
09.00	開 会 式					
10.00	予選 第1レース					
10.40	予選 第2レース					
11.00～12.00 昼 食 ・ 休 憩						
12.30	敗者復活レース					
13.10	順位決定レース					
14.00	決 勝 レース					
14.45	閉 会 式					